

臨床栄養学特論 (2単位)

担当者氏名 田中越郎・本間和宏・若菜 宣明

◆学習・教育目標

疾病時の栄養学について、一般の栄養学の面からはもちろんのこと、臨床医学の面からも理解を深める。そのために、国内外の重要な医学文献を提示し、最新の話題についても解説を試みる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

_____ 人体 _____ 疾病 _____ 栄養学 _____ 病態学
 _____ 病理学 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	いとぐち	病気と栄養についての概説	疾病の概念を把握しその病態生理をまず理解する。その上で各種の病態における栄養を医学的に考察していく。
2	健康とは	健康論について解説	
3	疾病論	疾病とは何かを理解する	
4	病態生理学論	人体の病態生理について理解する	
5	人体の病理	人体病理について病理学的な面から解説する	
6	人体病態学	人体病態について解説する	
7	人体病態学	文献を用いて人体病態について理解する	
8	人体病態学	文献を用いて人体病態について理解する	
9	人体病態学	文献を用いて人体病態について理解する	
10	人体臨床栄養学	病態と栄養の関連について解説する	
11	人体臨床栄養学	文献を用いて病態と栄養について理解する	
12	人体臨床栄養学	文献を用いて病態と栄養について理解する	
13	人体臨床栄養学	文献を用いて病態と栄養について理解する	
14	食品と医薬品	食品と医薬品の差異について理解する	
15	まとめ	病態と栄養についてまとめる	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

ガイトン臨床生理学／早川弘一監訳／医学書院 (1999)

Clinical Nutrition (The Nutrition Society Textbook) MJ. Gibney et al, Wiley-Blackwell (2005)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

ハリソン内科学／福井次矢監訳／メディカルサイエンスインターナショナル (2009)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業での発言などの態度 50%, レポート 50%で総合的に評価する。必要に応じて小テスト等を追加する。

◆その他受講上の注意事項

Since learning is an active process, students must have adequate rest, health, and physical ability.